

ピポドームの一角にある作業室。悠ピポは机に向かって、回路図とにらめっこしていた。

「🧠🔧」 (電子工作って奥深いな…)

「📖💪🎯」 (でも俺、やり切る!)

何日もかけて勉強し、部品を集め、ついに小さな教室が完成した。

悠ピポは名付けた。「👛🔧🏠」 (ピポエレラボ!)

---

翌日、ピポミが用意したカラフルなビラを抱えて、悠ピポとミドシンはピポ市へ出かけた。

「📄📢💨」 (さあ、みんなに知ってもらおうぞ!)

「📄🌟➡️👦👧」 (子ピポたちの手に届きますように)

公園の前、学校の前、商店街の掲示板。

「📄👁️📄!!」 (見たな!? ビラに引き寄せられてる!)

子どもたちがビラを見てざわめく。

「👦👧💬『なにこれ〜! 光るって書いてある!』」

「📄📺💡👁️」 (電子工作…? おもしろそう!)

---

その週末、ピポエレラボには見知らぬ顔が集まった。

- クロピポ: 「🕶️🔧🔍」 (メカは俺の生きがい)
- ララピポ: 「😄⚡️🔌」 (あっ、電池さし間違えた〜!)
- ピタピポ: 「📖📊📖」 (回路図って面白いな…)
- リンピポ: 「👯📺🎵」 (双子のリズムで作る!)
- モジピポ: 「😬🔗💡」 (うまくできるかな…)

悠ピポ: 「📖🔧➡️📺🔧」 (まずは基礎からやっていこう!)

ミドシン: 「📖➡️💬👦👧」 (難しいところは僕がサポートするよ)





---

クロピポが手を挙げた。

「⚡️🔌!？」 (LEDが光らない!)

ララピポ：「→△」（ブレッドボードが線でぐちゃぐちゃ！）

悠ピポは苦笑い。「」（大丈夫、こういうのはみんなが通る道）

ミドシンが「→」（ジャンパーワイヤーの向きね）

---

一ヶ月後、なんと、前回来た子たちが全員また来た！

モジピポ：「」（音に反応して光るセンサーできた！）

クロピポ：「」（スマホで温度が見れる！）

悠ピポは感動して叫んだ。

「」（みんなすごい成長してる…本当に感動）

---

ピタピポが作った作品をSNSに投稿すると、バズった。

「」（みんな見て！ピポエレラボの投稿！）

ハッシュタグ「#ピポエレラボ」がトレンド入り。

それを見た教育委員会が教室を視察に訪れる。

「」（街の子どもたちが技術を学べる素晴らしい場所ですね）

支援の申し出に悠ピポは目を丸くした。

「」（え、本当ですか…ありがとうございます！）

---

月曜、また違う子どもたちがやってきた。

「」（ピラ見たよ！エレラボ参加したい！）

ピポミが笑って迎え入れる。

「」（お茶とお菓子も用意したよ～）

悠ピポが黒板に向かって書く。

「」（ピポエレラボへようこそ！今日も作って学ぼう！）